

肝ぞう通信

第 7 号 《超音波検査の肝硬度測定について》

お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院 1 階
総合相談室

受付時間：
平日 9:00~15:00
土曜日 9:00~12:00
(第 2・4 土曜日除く)

豆知識

エコーとは、反射波のことです。超音波検査は超音波の反射波（エコー）によって画像をつくっています。

次回号

テーマ：肝硬変の合併症対策

発行責任者

東海大学医学部付属病院
肝疾患医療センター長
加川 建弘

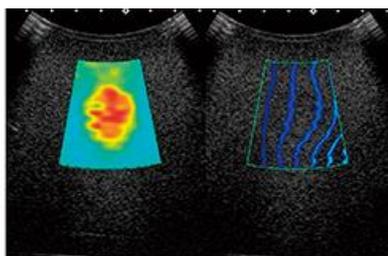
肝硬度測定-Shear Wave Elastography

びまん性肝疾患の診療において、抗ウイルス療法の適応の決定や治療効果の予測、肝発癌リスクなどを把握するために、肝線維化を正しく診断することは非常に重要です。そこで、非侵襲的に肝臓の線維化、硬さを診断できる方法としてエラストグラフィが開発され注目されるようになりました。

当院では肝臓の硬さを計測する方法として、組織の剪断波の伝搬速度を測定するシェアウーブエラストグラフィを使用しています。

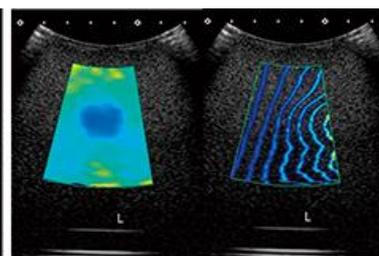
硬い物質ほど、剪断波の伝搬速度が速くなります。超音波装置では色見で表示でき、速さを数値化することが出来ます。画像表示される色見については硬いものは剪断速度が速く、赤色に近い黄色味がかっ色で表示されます（図1）。軟らかいものは剪断速度が遅く、青色に表示されます（図2）。

図 1



硬いターゲット

図 2



軟らかいターゲット